

悲願の初Vへ八学大闘志 明治神宮野球大会、17日初戦



大会に向けて調整を行う八学大の選手たち＝10日、八戸市

明治神宮野球大会は14日、開幕する。大学の部では、全国各地の代表11校が秋の日本一を目指して熱戦を繰り広げる。東北地区の八学大は初戦の準々決勝（17日午後3時開始）で、神奈川大（関東2）―東亜大（中国・四国）の勝者とぶつかる。八学大はエース小林直

生を中心とした守りのチーム。打線は切れ目がなく、どこからでも試合を動かせる。10月の東北地区代表決定戦の決勝では、今春の全日本大学選手権を制した東北福祉大を6―1で下して頂点に。12年ぶり5回目の明治神宮大会出場を決めた。

開幕を控えた10日、選手たちは八戸市の室内練習場で軽めの調整を実施。体幹トレーニングやショートダッシュなどをこなした。チームの過去最高は2007年のベスト4。今年には悲願の初優勝を狙う。十鳥真乙主将は「チャンスで一本打てれば、

有終の美を飾りたい」と気合十分。小林は「球威のある直球と制球力が持ち味。自信を持ってマウンドに立ちたい」と闘志を燃やした。また、この日は市庁を訪れ、熊谷雄一市長への出場報告も行った。

（千葉達也）